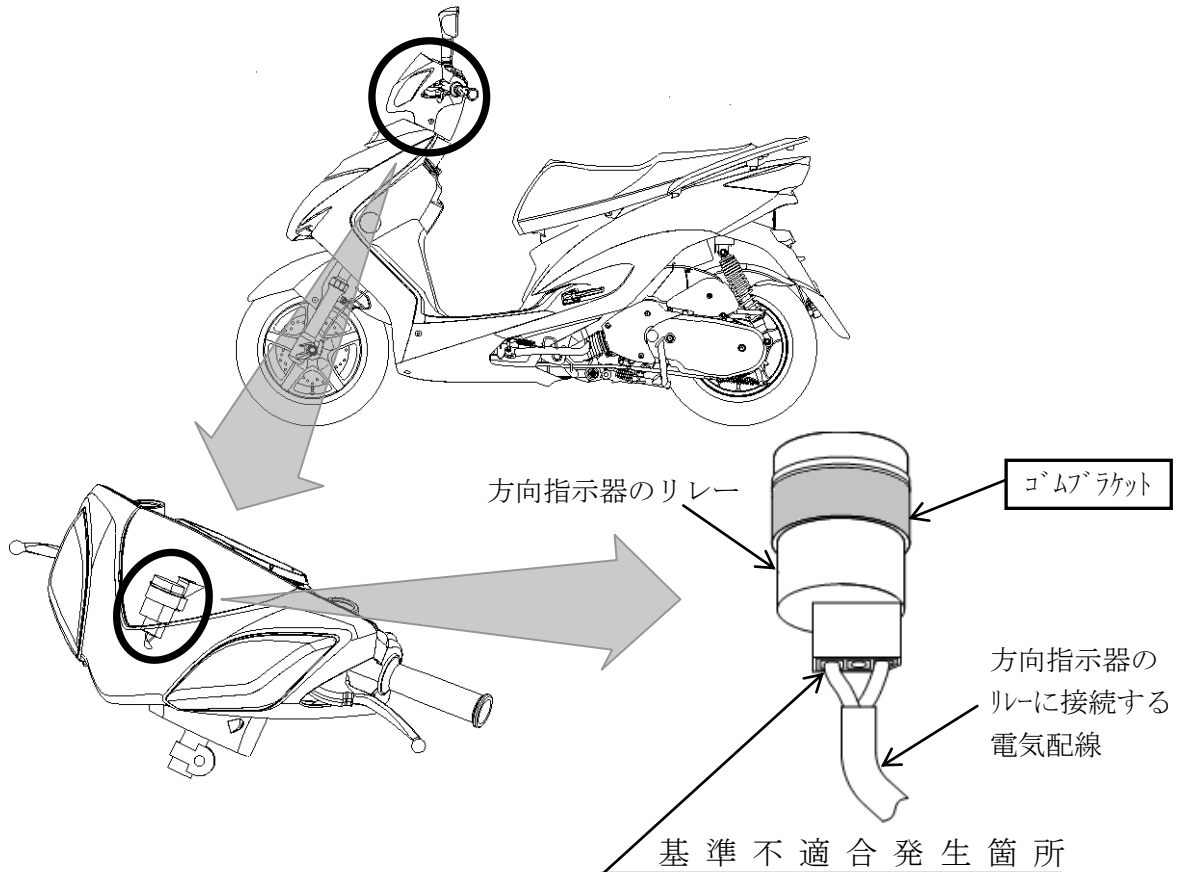


改善箇所説明図①



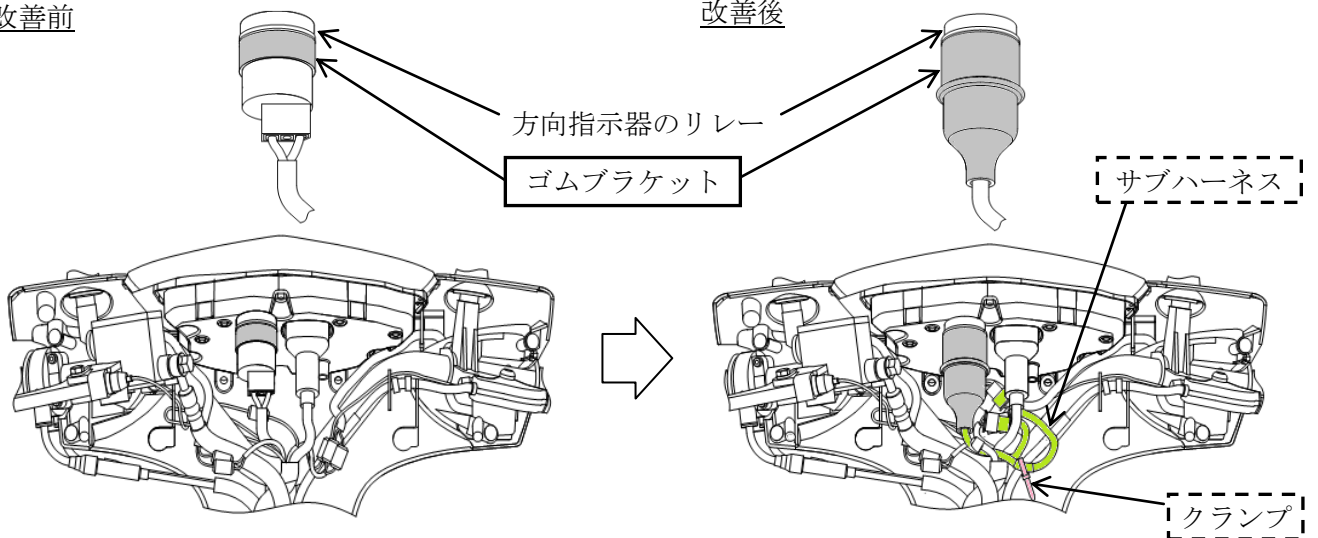
方向指示器のリレーの固定方法が不適切なため、当該リレーに接続する電気配線が走行中の振動により屈曲することがある。そのため、そのまま使用を続けると、当該電気配線が屈曲を繰り返すことで断線し、方向指示器が不灯となるおそれがある。

改善の内容：全車両、方向指示器のリレーを取り付けるゴムブラケットを対策品へ変更する。

また、電気配線に対策用のサブハーネスを取り付けるとともに、クランプを追加し電気配線を固定する。

改善前

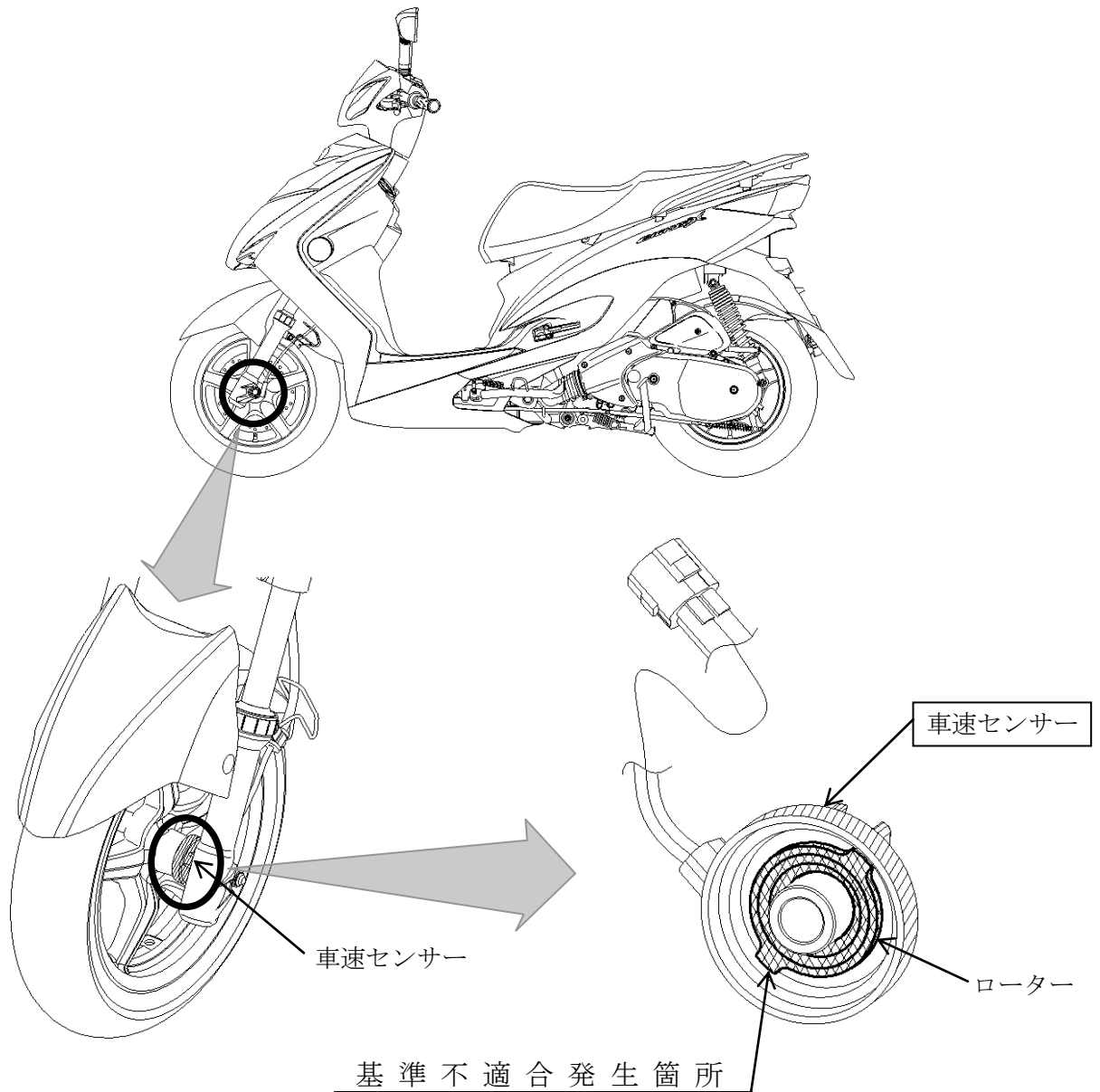
改善後



識別：サイドスタンド取り付け部付近に白ペイントを塗布する。

注： は交換部品を示す。
 は追加部品を示す。

改善箇所説明図②



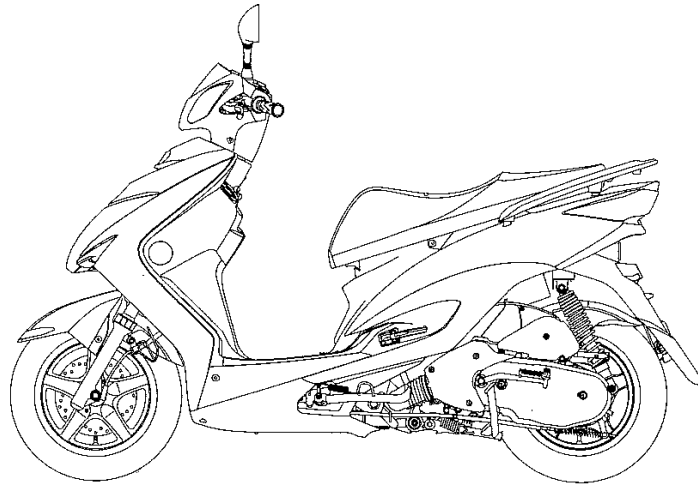
前輪車軸部に装着されている車速センサーの構造が不適切なため、走行時にローターが傾くことにより内径摺動部の潤滑用グリスが押し出され、不足することがある。そのため、ローターが回転するときの摺動抵抗が増大し、ローター爪部に過大な負荷がかかり、そのまま使用を続けると、最悪の場合、ローター爪部が破損し速度計が作動しなくなるおそれがある。

改善の内容：全車両、車速センサーを対策品に交換する。

識別：サイドスタンド取り付け部付近に白ペイントを塗布する。

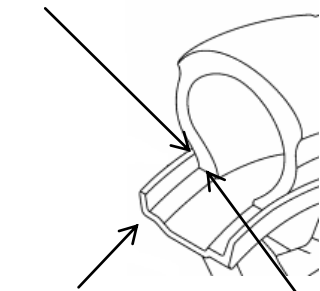
注： は交換部品を示す。

改善箇所説明図③

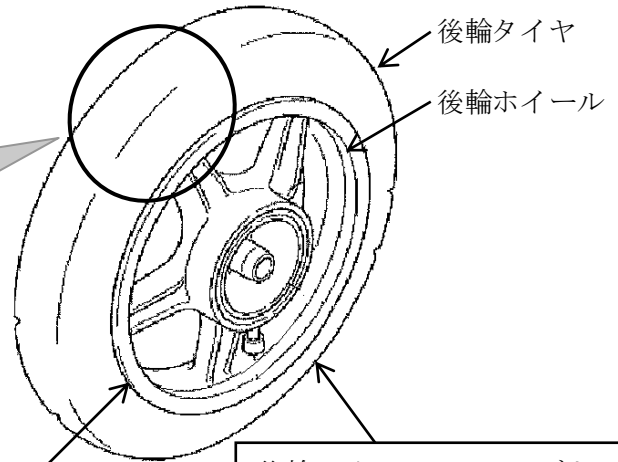


<タイヤ及びホイールの断面図>

タイヤビード部



リム部



後輪タイヤ

後輪ホイール

後輪ホイールアッセンブリ

基準不適合発生箇所

後輪ホイールにおいて、製造時のリム部の仕上げ加工が不適切なものがある。そのため、タイヤとの密着性が悪く、リム部とタイヤビード部の間から空気が漏れ、最悪の場合、走行安定性を損ない転倒するおそれがある。

改善の内容：全車両、後輪ホイールアッセンブリを対策品と交換する。但し、改善措置用部品の準備に時間を要することから、部品の供給ができるまでの暫定措置として、後輪タイヤのビード部に空気漏れ防止剤を塗布し、部品の準備ができ次第、対策品と交換する。

識別：クランクケースのリヤクッション取付部付近に白ペイントを塗布する。

注： は交換部品を示す。